

2021年度福祉マネジメント修士(専門職)
実践研究報告書表題

福祉マネジメント修士（専門職）学位取得者実践研究報告書表題

連番	表題	氏 名	ローマ字表記
1	自院で立ち上げる高齢者住まいの可能性 ～退院支援データの整理と市内全高齢者向け住まいの運営 実態調査を通じて～	坂 巻 卓	Suguru Sakamaki
2	少年院におけるソーシャルワークについて ～新しい支援過程の取り組みをとおして～	天 宮 陽 子	Yoko Amamiya
3	災害時保健活動に備えた A 市保健師の人材育成の取り組み	梅 澤 裕 子	Yuko Umezawa
4	就労に消極的な生活保護受給者の就労支援について ～効果的な支援方法や要因について考察する～	小 園 暁 子	Akiko Ozono
5	居場所事業の意義に関する考察 ～若者の就労支援に必要な機能とは～	上 岡 亜矢子	Ayako Kamioka
6	精神科病院におけるソーシャルワーカーの人材育成に関する 一考察 ～キャリアラダーとグループスーパービジョン導入の効果～	菊 地 祐 子	Yuko Kikuchi
7	業務改善導入時の抵抗感についての考察 ～ ICT 導入を通じて～	喜 多 将 之	Nobuyuki Kita
8	高齢者施設における地域福祉活動を組織として実践する仕組 み構築の実践研究 ～民間企業が運営する高齢者施設の実践を踏まえて～	倉 吉 輝	Wataru Kurayoshi
9	魅力ある職場づくりを目指す取り組み ～新任期職員・気になる職員の個別面談を通して～	佐々木 玲 子	Reiko Sasaki
10	法人理念の実現に向けた人材の育成について ～法人本部主催による研修企画を通じて～	鈴 木 孝 尚	Takahisa Suzuki
11	高齢者の終末期に患者家族等が療養上の意思決定をする際 の SW の支援のあり方について ～地域包括ケア病棟・療養病棟での支援を通じて～	積 山 靖 子	Yasuko Tsumiyama
12	自宅での看取り支援に求められるケアマネジメントの変革 ～混乱期から見てきたケアマネの新たな気づき～	苫米地 絵理香	Erika Tomabechi
13	在宅高齢者の服薬における介護支援専門員のアセスメントか らの連携 ～利用者が服薬の重要性を理解し、的確な服薬管理がで きるための支援のあり方～	西 澤 文 恵	Fumie Nishizawa
14	自法人医療福祉部門におけるスーパービジョンの体制構築の 取り組み ～専門職としての成長と、職場のソーシャルキャピタル醸成 を目指して～	野 口 百 香	Yuka Noguchi
15	自職場におけるソーシャルワーカーの専門性向上に関する取 り組み ～事例報告シート開発とその効果について～	野々山 陽 子	Yoko Nonoyama
16	ソーシャルワーカーが法を使いこなせるようになるために - 児童相談所配置弁護士としての取り組みを通じての考察 -	安 井 飛 鳥	Asuka Yasui
17	ピアサポートグループにおける協働 ～リーダーシップと立場性～	飯 塚 ひろみ	Hiromi Iizuka
18	利用者支援事業「基本型」設置場所に関する一考察 ～役所設置事例の特性と課題～	岩 田 めぐみ	Megumi Iwata
19	障害者雇用での障害者支援を行う職員への支援 ～特例子会社における一般職員と障害者職員の相互理解を 深めるために～	遠 藤 節 子	Setsuko Endo

20	担当している老老介護世帯の在宅継続を支援するには ～居宅ケアマネになったから見えてきた心配ごと～	岡 田 吉 充	Yoshimitsu Okada
21	ピアサポートの原理に基づくピアスタッフの支援の考察 ～当事者研究を活用してより良い支援を実践する～	壁 田 英 一	Hidekazu Kabeta
22	精神科入院患者の退院支援モデルの構築 ～地域と病院双方から読み解く地域移行支援実践～	鹿 山 雄 志	Takeshi Kayama
23	放課後子供教室を立ち上げた意味と必要性（Ａ 県 Ｂ 市） ～学習支援を増やす必要性を通して～	菊 池 都	Miyako Kikuchi
24	児童養護施設Ａ園の支援を言語化する ～強みと課題を明らかにする～	清 田 和 也	Kazuya Kiyota
25	サービス管理責任者としての自身を振り返り業務改善する ～支援員と共に施設の支援の質の向上を図るため～	佐久間 順 生	Junsei Sakuma
26	コロナ禍における特例子会社の支援職としてできること ～在宅勤務下でのリモートレクリエーションの考察～	澤 村 裕 美	Yumi Sawamura
27	高齢者への意思決定支援の現状・在り方について ～現場における支援者の実践と社会福祉士後見人の役割を 考察する～	新 城 啓 太	Keita Shinjo
28	日本司法支援センターにおけるソーシャルワークの取組 ～地域共生社会で求められる組織となるために社会福祉士に できること～	杉 本 極	Kiwami Sugimoto
29	子ども家庭福祉を担う心理職の育成に関する取組み ～体系的研修プログラムの検討と作成～	高 橋 典 子	Noriko Takahashi
30	学校をフィールドとした支援の省察を通して ～支援者としての自らの視座の転換からの気づき～	高 間 佳奈枝	Kanae Takama
31	高次脳機能障害者の地域生活への移行（継続）の際の 自己決定を尊重した支援に関する研究	茅 根 孝 雄	Takao Chinone
32	Ａ 市における軽度発達障害者のライフステージを越えた繋がる 支援の形を探る ～キャリア発達支援に視点をにおいて～	照 屋 明 子	Akiko Teruya
33	個人の生活を大事にしながら共同生活をするとは ～ GH 入居者のミーティングを通じた一考察～	富 樫 紀 子	Noriko Togashi
34	居宅介護支援事業所管理者の担う業務の明確化と力量の標 準化に向けて	野 田 外内美	Tonami Noda
35	作業療法士の専門性が活かされた地域における支援とは ～作業療法コンサルテーション参加者の声から～	藤 崎 咲 子	Sakiko Fujisaki
36	地域の受け皿としての 24 時間緊急一時保育事業の意義を 考える ～ 26 年間の実践を通して、これからの子育て支援を考え る～	増 田 恵美子	Emiko Masuda
37	特別養護老人ホーム介護職員の帰属意識の考察 ～組織マネジメントを通じた魅力ある職場づくりに向けて～	三 木 康 史	Yasufumi Miki
38	Ａ区青年学級の意義とこれからの在り方に関する考察 ～知的障がいを持つ人々への余暇とつながりを支援する役割 を中心として～	水 越 幸 彦	Yukihiko Mizukoshi
39	社会福祉法人に対する税理士の貢献について	光 吉 直 也	Naoya Mitsuyoshi
40	多職種多機関が関わる訪問型サービス Ｃ 提供における 共通言語と共通概念の醸成に関する研究	山 本 徹	Tetsu Yamamoto